

【ねがいましては】

平成13年6月27日

第136号

KYOWA SCHOOL

「まじめさん」

「おひさしぶりです。」と、にこっと笑いながら、とても元気な様子。

Mちゃんは小学校2年生のときからの生徒。おとなしく、自分から積極的にしゃべるというような子ではありません。こつこつと7年間通い続け、2級まで取りました。

先日、生徒たちを連れて近くのスーパーへ出かけたとき、エレベーターの中で、「先生！」
「えっ、ああ、こんにちは。」おとなりにはお母さんなのでしょう。びっくりされた様子。

「そろばん塾です。お世話になっております。」

そして数日後、気になったのでしょうか、彼女から尋ねてきました。

実は彼女は高校入学の時、『新入生総代の言葉』を高校側から頼まれ、私がその言葉を作成、渡してありました。彼女は、高校進学後しばらく姿を見せていませんでした。

「先生、あの言葉、とてもよかったです。特に、『勉学だけに留まらず・・・』のところが、高校の先生に褒められました。」「良かったー！実は気になってたんだ。」

私にはこの25年間、ぶつぶつと言い続けてきましたことがあります。『思いやりとやさしさを持つ』です。この教室から、ちっぽけでもいいから発信し続けようと、今でもぶつぶつやっております。

「人が人の役に立って、初めて『人』なのらー。」「まじめさんがみんな幸せになれるような世の中にならいいよね。」などと、かつこのいいことばかり・・・。

「先生、1級受けていいですか。」「ああ、どうぞ。受けたいときが合格できる時さ。ついこの前の検定でも、中3のYちゃんが、一発で3級合格したよ。」

私が何よりも嬉しいのが、このような『まじめさん』が、生き生きとしてくれる事です。
「いやー、実はさ。この中間テストでね、○○ちゃんが1位だったんだ。」「あの、私も1位でした。」「そうか、そうか。」(なんと、高校生が中間テスト1位続出)

きっと彼女は1位を取ろうと思っていなかったと思います。今までどおりのまじめさんが、そうさせたのだと・・・。自分に負けないよう、自分に勝っただけ。

そろばんは、長い長いマラソンみたいな習い事です。今のように、即効性ばかりが最優先される時代には、ちょっと不利な面もあるかもしれません。でも、このようにしてこつこつとまじめに歩いてきた事が、『しあわせ』につながる事を、私は言い続けるつもりです。

私は今、パソコンで『絵本』をつくっています。その中の主人公も、まじめでめだたない『思いやりの固まりさん』です。そんな子達であふれる教室を夢見て、きょうもこつこつです。

本物の『しあわせ』・・・このようなものではないでしょうか。
絵本の中の一節です。

ぼくは「あったかさん」になっこ

こんじは君のこと

あったかくする・・・

7月の予定・・11（水）～15（日）珠算・暗算検定試験・・KYOWA SCHOOL

夏の予定・夏の勉強室のお知らせは、別紙お渡しいたします。

数日お待ちください。